

今週のお祈り

聖霊降臨後第20主日(特定22)特禱

主よ、主の家族である教会を、絶えることのない恵みのうちにお守りください。どうか主の守りによってすべての災いを免れ、良い行いをもって熱心に主に仕え、み名の栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ：03-3710-6031

号外 219

発行日  
2024年  
10月6日

先週(9/30)は日曜学校遠足。こどもたち、保護者の皆さん、スタッフとで出かけました。教会では体験できないような豊かな楽しい交わりの1日を過ごすことができました！神様のみまもりと恵みに感謝。



今週の聖書 マルコによる福音書 10:2-9  
2 ファリサイ派の人々が近寄って、「夫が妻を離縁することは許されているでしょうか」と尋ねた。イエスを試そうとしたのである。3 イエスは、「モーセはあなたがたに何と命じたか」と問い返された。4 彼らは、「モーセは、離縁状を書いて離縁することを許しました」と言った。5

聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

イエスさまに敵対するファリサイ派の人びとが、「夫が妻を離縁することは、律法に適合しているでしょうか」と尋ねたのは、イエスさまを陥れようとするための質問でした。自分たちの勝手な思いを正当化するために律法を都合よく解釈して用いることは多くありました。ことに、人びとの偏見や差別を正当化しようとしています。イエスさまは、聖書の天地創造の物語から、神さまからの愛によって尊い命を与えられた人びとは、だれでも神さまの前に平等であって、互いに愛し合い大切に生きて生きる生き方を示されます。

イエスは言われた。「あなたがたの心がかたくななので、モーセはこのような戒めを書いたのだ。6 しかし、天地創造の初めから、神は人を男と女とお造りになった。7 こういうわけで、人は父母を離れて妻と結ばれ、8 二人は一体となる。だから、もはや二人ではなく、一体である。9 従って、神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。」

